

自然観察エリア ガイドマップ

—磯の観察エリア—



千葉県立中央博物館分館
海の博物館

いで磯に出かけよう！

はくぶつかん め まえ かいがん しお
博物館の目の前の海岸では潮がひいたときに
たくさんの生きものを見ることができます。
じっくり観察してみましょう。



③ おひょうぶんぶ 帯状分布

いわ ひょうめん かいめん
岩の表面などでは、海面
からの高さごとにすんで
いる生きものが違います。

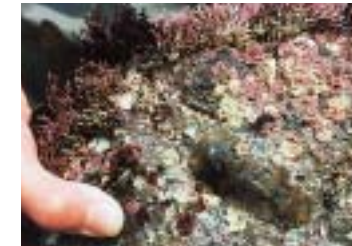


① しお 潮だまり

いろいろな魚のこどもがすんでいます。



いわ した をのぞいてみると、いろいろな
生きものがかくれています。



※しお 潮だまりとは、しお 潮がひいたときに
岩のくぼみなどにできる水たまり
のことです。

② ひょうやくぶつ 漂着物

すなはま
砂浜にはさまざまなもの
が流れつきます。



野外に出かける前に

- ・岩の上にはすべりやすい所がありますので、ゴムぞうりやハイヒールはさけ、すべりにくい運動靴などをはくようにしましょう。
- ・日差しが強いときにはぼうしをかぶるようにしましょう。
- ・波が高いときや風が強いときは観察には向きません。
- ・潮がひく時間は展示室の「自然観察エリア」ホワイトボードで確認することができます。

観察時の注意

- ・ぬれた岩などはすべりやすいので足下に注意しましょう。
- ・崖は落石などの危険があるので近寄らないようにしましょう。

危険な生きもの

磯にはとげをもっていたり、毒をもっている危険な生きものもいます。むやみにさわらないようにしましょう。



ガンガゼ
(ウニのなかま 高さ10cm)



ハオコゼ
(カサゴのなかま 長さ5cm)

博物館からのお願い

- ・生きものは持ち帰らず、たくさんの人が観察できるようにしましょう。
- ・ひっくり返した岩などは元に戻しましょう。
- ・ゴミは持ち帰りましょう。

発行

千葉県立中央博物館分館 海の博物館

〒299-5242 千葉県勝浦市吉尾123 TEL 0470-76-1133

磯の観察エリア生きもの図鑑



ヒトエグサ
(緑藻のなかま、幅4~10cm)



ウミウチワ
(褐藻のなかま、高さ10cm)



クロイソカイメン
(カイメンのなかま、幅20cm)



ヨロイイソギンチャク
(イソギンチャクのなかま、幅3cm)



アラレタマキビガイ
(まき貝のなかま、高さ5mm)



イボニシ
(まき貝のなかま、高さ2cm)



イソヨコバサミ
(ヤドカリのなかま、幅2cm)



ホンヤドカリ
(ヤドカリのなかま、幅2cm)



オオバモク
(褐藻のなかま、長さ50cm)



ヒジキ
(褐藻のなかま、長さ50cm)



ミズヒキゴカイ
(ゴカイのなかま、長さ10cm)



ヒザラガイ
(ヒザラガイのなかま、長さ6cm)



イシダタミガイ
(まき貝のなかま、高さ3cm)



スガイ
(まき貝のなかま、高さ3cm)



イソカニダマシ
(ヤドカリのなかま、幅2cm)



イワガニ
(カニのなかま、幅5cm)



ウミトラノオ
(褐藻のなかま、長さ30cm)



ハナフノリ
(紅藻のなかま、高さ3cm)



ウノアシガイ
(まき貝のなかま、長さ3cm)



ヨメガカサガイ
(まき貝のなかま、長さ4cm)



アメフラシ
(ウミウシのなかま、長さ15cm)



カメノテ
(フジツボのなかま、高さ4cm)



ヒライソガニ
(カニのなかま、幅4cm)



ヤツデヒトデ
(ヒトデのなかま、幅6cm)



無節サンゴモ類
(紅藻のなかま、幅8cm)



ピリヒバ
(紅藻のなかま、高さ3cm)



マツバガイ
(まき貝のなかま、長さ8cm)



オオヘビガイ
(まき貝のなかま、長さ8cm)



フナムシ
(ダンゴムシのなかま、長さ5cm)



イソスジエビ
(エビのなかま、長さ5cm)



バワンウニ
(ウニのなかま、幅5cm)



タコノマクラ
(ウニのなかま、幅8cm)